

(速報)消費生活相談の概要＜2024年4月～2025年3月＞

東三河広域連合消費生活相談センター・相談室

令和7(2025)年5月

令和6年度(2024年4月～2025年3月)に寄せられた消費生活相談件数は、4,416件でした。
前年度と比べ、291件増加(約7.1%増)しています。
一方、愛知県全体では約0.6%増、全国では約0.7%増となっています。

■相談者居住地別件数(表1-1)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		豊橋市	豊川市	蒲郡市	新城市	田原市	町村※	その他	計
2024年4月～ 2025年3月		2,279	1,094	389	179	292	34	149	4,416
構成比(%)		51.6	24.8	8.8	4.1	6.6	0.8	3.4	100.0
前年度		2,076	1,014	410	194	292	26	113	4,125
対 前年度	件数(件)	203	80	△ 21	△ 15	0	8	36	291
	率(%)	9.8	7.9	△ 5.1	△ 7.7	0.0	30.8	31.9	7.1

※町村は設楽町・東栄町・豊根村の合計。その他は無回答とその他地域。

■相談窓口別件数(表1-2)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		総合 センター	豊川 センター	蒲郡 センター	新城 センター	田原 センター	計
2024年4月～ 2025年3月		2,528	1,110	287	213	278	4,416
構成比(%)		57.2	25.1	6.5	4.8	6.3	100.0
前年度		2,225	1,035	369	220	276	4,125
対 前年度	件数(件)	303	75	△ 82	△ 7	2	291
	率(%)	13.6	7.2	△ 22.2	△ 3.2	0.7	7.1

- 居住地別では、蒲郡市・新城市で減少しました。
○窓口別では蒲郡センター・新城センターは減少し、総合センター・豊川センター・田原センターは増加しました。
○全体件数が増加した要因としては、多重債務(229件→341件)と定期購入(366件→479件)、
クレジットカード(343件→445件)に間する相談の増加が影響しています。

■相談者年代別件数(表2)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

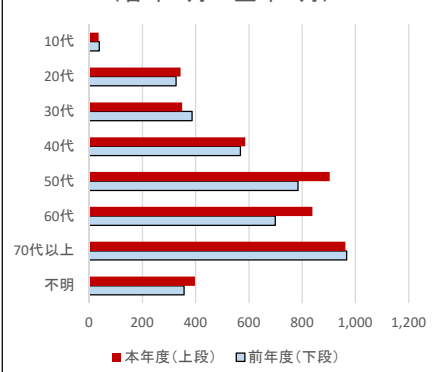
区 分		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
2024年4月～ 2025年3月		36	343	349	586	903	839	963	397	4,416
構成比(%)		0.8	7.8	7.9	13.3	20.4	19.0	21.8	9.0	100.0
前年度		38	327	386	568	784	699	967	356	4,125
対 前年度	件数(件)	△ 2	16	△ 37	18	119	140	△ 4	41	291
	率(%)	△ 5.3	4.9	△ 9.6	3.2	15.2	20.0	△ 0.4	11.5	7.1

- 年代別では20代と40～60代が増加し、10・30・70代以上が減少しました。

【内訳・詳細】

- ・「SNSを活用した商品購入など」への相談は、476件で大きく増加しました。
(前年度417件)
- ・「判断が不十分な方への契約」に関する相談は、68件で減少しました。
(前年度85件)
- ・「未成年者への契約」に関する相談は、41件で減少しました。
(前年度47件)
- ・「心身障がい者への契約」に関する相談は、223件で大きく増加しました。
(前年度198件)
- ・絶対儲かると言われ、デジタルツールを購入する「情報商材」関連の相談は、
29件で大きく減少しました。(前年度51件)

年齢別相談件数
(各年4月～翌年3月)



■品目別相談件数(表3-1)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分	商品計 ①	商品のうち主なもの				サービス計 ②	サービスのうち主なもの				他の相談計 ③	計 ①+②+③
		商品一般	保健 衛生品	教養 娯楽品	食料品		金融・保険	教養・娯楽	他の役務	運輸・通信		
2024年4月～ 2025年3月	2,240	561	421	283	275	2,077	479	302	297	284	99	4,416
構成比(%)	50.7	12.7	9.5	6.4	6.2	47.0	10.8	6.8	6.7	6.4	2.2	100.0
前年度	2,069	473	329	309	233	1,993	445	390	236	281	63	4,125
対 前年度	件数(件)	171	88	92	△ 26	42	84	34	△ 88	61	3	291
	率(%)	8.3	18.6	28.0	△ 8.4	18.0	4.2	7.6	△ 22.6	25.8	1.1	7.1

- ①商品計は、2,240件(前年度比171件・8.3%)で増加しました。
商品分類では「商品一般」が最も多く561件(前年度比88件・18.6%)で大きく増加しました。
次に、化粧品の定期購入等に関する相談を含む「保健衛生品」で421件(前年度比92件・28.0%)と大きく増加しました。
- ②サービス計は、2,077件(前年度比84件・4.2%)で増加しました。
サービス分類では「金融・保険」が最も多く、479件(前年度比34件・7.6%)で増加しました。
次に、娯楽等情報配信サービスに関する相談を含む「教養・娯楽」で302件(前年度比△88件・△22.6%)と大きく減少しました。

■商品等別相談件数(表3-2)

区 分(順 位)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2024年4月～ 2025年3月	商品一般	フリーローン・サラ金	役務その他 サービス	化粧 クリーム	他の 健康食品	脱毛エステ	賃貸 アパート	携帯電話 サービス	相談その他	光 ファイバー
	561	258	137	128	105	97	93	71	69	66
前年度	473	186	104	39	86	29	109	67	39	62
対 前年度	件数(件)	88	72	33	89	19	68	△ 16	4	30
	率(%)	18.6	38.7	31.7	228.2	22.1	234.5	△ 14.7	6.0	76.9

- ・「フリーローン・サラ金」に関する相談は258件(前年度比72件・38.7%)で増加しました。
・インターネット通販などで注文購入する「化粧クリーム」に関する相談は128件(前年度比89件・228.2%)で大きく増加しました。
・「脱毛エステ」に関する相談は97件(前年度比29件・234.5%)で大きく増加しました。

■販売購入形態別相談件数(表4)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分	店舗購入	店舗外取引に関する相談					店舗外 取引計	不明・ 無関係	計
		通信販売	訪問販売	電話勧誘 販売	マルチ 商法	その他			
2024年4月～ 2025年3月	985	1,504	302	275	17	53	2,151	1,280	4,416
構成比(%)	22.3	34.1	6.8	6.2	0.4	1.2	48.7	29.0	100.0
前年度	891	1,498	311	267	41	66	2,183	1,051	4,125
対 前年度	件数(件)	94	6	△ 9	8	△ 24	△ 13	△ 32	229
	率(%)	10.5	0.4	△ 2.9	3.0	△ 58.5	△ 19.7	△ 1.5	21.8

- 店舗購入は985件(前年度比94件・10.5%)で増加しました。
○店舗外取引は2,151件(前年度比△32件・△1.5%)で減少しました。

【内訳・詳細】

- ・店舗購入では「脱毛エステ」に関する相談が96件(前年度29件)で最も多く、
次いで「フリーローン・サラ金」が87件(前年度61件)でした。
- ・店舗外取引では「通信販売」が1,504件(前年度1,498件)で最も多く、
次いで、「訪問販売」が302件(前年度311件)でした。
- ・「通信販売」では「化粧クリーム」が126件(前年度38件)で最も多く、
次いで「商品一般」が109件(前年度115件)でした。
- ・「訪問販売」では「新聞」が21件(前年度23件)で最も多く、
次いで「修理サービス」が19件(前年度17件)でした。
- ・「電話勧誘販売」では「商品一般」が42件(前年度43件)で最も多く、
次いで「光ファイバー」が31件(前年度22件)でした。
- ・その他に含まれる「訪問購入」は40件(前年度39件)でした。

東三河広域連合 住民生活事業部消費生活課
電話:0532-26-9077 令和7(2025)年5月

